

トキソプラズマ症



豚・山羊の病気



人獣共通感染症

人にもかかる
可能性がある病気



届出伝染病

原因

トキソプラズマ原虫という寄生虫が原因。
多くの哺乳類，鳥類に感染する病気。
主に猫の糞便に排泄された原虫を食べることで
感染し，原虫は全身にひろがる。

症状

急性では，発熱，呼吸数増加，耳翼にチアノーゼが
見られる。多くは，感染しても生体では症状が現
れにくく，と畜場での内臓検査で発見される。
リンパ節の腫れや出血，壊死，
肝臓に白斑（壊死）や出血が見られる。

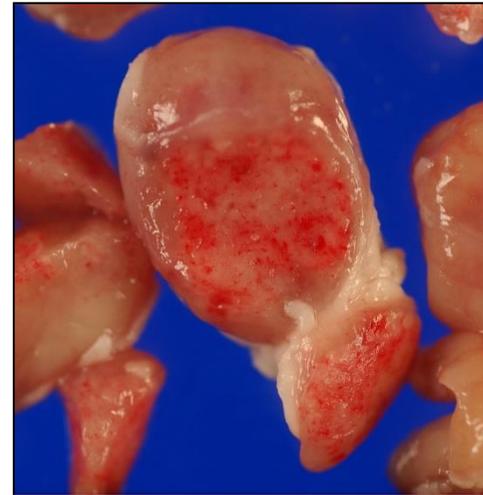
予防

豚舎へ猫を出入りさせない。
豚舎を洗浄・消毒するなど衛生管理を徹底し
トキソプラズマ原虫による土壌や飼料の汚染を
防止する。

処分

全部廃棄（枝肉も内臓もすべて廃棄処分となる）

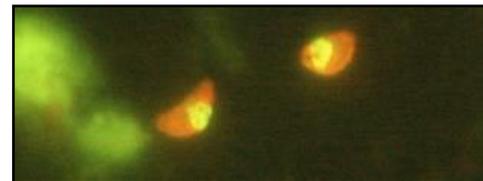
感染した**豚肉を生で食べると人に感染**。
健康な成人では症状が現れにくい
妊娠中の母親が初めて感染すると，胎児の死亡，
新生児に脳炎，水頭症などの先天性の障害がおこる可能性。



腸間膜リンパ節の壊死



肝臓の白斑（壊死）



三日月のような形の
トキソプラズマ原虫
（蛍光顕微鏡）